

令和3年7月

施設長 殿
放射線取扱主任者 殿
放射線業務従事者 殿

放射線障害防止中央協議会
会長 畑澤 順

令和3年度(秋期)
「放射線安全管理研修会」のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から10年が経ちましたが、被災された方々の心労はまだ癒されたとはいえない状況かとお推察いたします。あらためて心からお見舞い申し上げますとともに、震災後の復旧、復興に今なおご尽力されておられる皆様には、更に健康・安全に留意されてご活躍されますようお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、その第一線で活躍中の医療従事者の皆さまに、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、当協議会は、昭和49年に設立されて以来、放射性同位元素等を取り扱う皆様へ適切な情報提供することを目的に、関係機関が集まり、相互協力のもと自主的に活動する機関として、研修会等の諸活動を通して放射線安全管理、放射線安全文化の醸成に寄与して参りました。

本研修会はその活動の一環として、(公財)原子力安全技術センターとの共催並びに(公社)日本アイソトープ協会、医療放射線防護連絡協議会、(公社)日本診療放射線技師会(一社)日本画像医療システム工業会の協賛によりハイブリッド形式で開催します。

研修会午前の部は、原子力規制庁放射線防護グループ放射線規制部門の担当官から「最近の放射線安全規制の動向」について、次に、素粒子ミュオンや不安定核ビームを応用した放射化学の専門家から「素粒子ミュオンの非破壊元素分析への応用—歴史資料から隕石まで—」と題しての講演を予定しております。

午後の部は、長年、環境放射線研究と放射線安全基準作成に寄与された専門家から「生活環境放射線(国民線量の算定)第3版 その改訂のポイント」と題して、次は、医療放射線治療現場で活躍中の臨床医から「放射線治療 最近の進歩と放射線管理」と題しての講演を予定しております。

最後は、特別講演として、「福島原発事故から10年—復興がなぜ進まないか—」と題して、原発事故翌年に発足した原子力規制委員会の初代委員長から直々の講演を予定しております。

本研修会は、第一線で活躍する様々な分野における著名な専門家を講師に迎え、時宜を得た放射線安全管理研修会を受講することができる貴重な機会でもあります。放射性同位元素や放射線発生装置等取扱事業所の安全管理に携わる皆様、並びに、放射線にご関心をお持ちの皆様にとって非常に有益な情報を得ることのできる内容となっております。

関係各位には、本研修会に奮ってご参加頂けますよう、ご案内申し上げます。

敬具

❖ 令和3年度(秋期)「放射線安全管理研修会」プログラム ❖

テーマ「放射線安全管理と放射線安全文化の醸成をめざして」

- ◆ 主催 放射線障害防止中央協議会
共催 (公財)原子力安全技術センター
協賛 (公社)日本アイソトープ協会、医療放射線防護連絡協議会
(公社)日本診療放射線技師会、(一社)日本画像医療システム工業会
- ◆ 開催日時・場所
期日 令和3年9月29日(水) 10:00 ~ 16:30
会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館) 6階 霧島(全館)-別図
- ◆ 開催形式 「会場集合型」+「同時オンライン配信Zoom(Webiner)」ハイブリッド形式

プログラム概要

- ◆ 開会の挨拶
放射線障害防止中央協議会 会長 畑澤 順 10:00 ~ 10:05
- 1. 「最近の放射線安全規制の動向」(仮称) 10:05 ~ 10:50
講師 原子力規制庁長官官房放射線防護グループ
放射線規制部門担当官(予定)
(休憩 10分)
- 2. 「素粒子ミュオンの非破壊元素分析への応用」 11:00 ~ 12:00
-歴史資料から隕石まで-
講師 久保 謙哉 先生
国際基督教大学 教養学部アーツ・サイエンス学科 教授
-昼休み(60分) 12:00 ~ 13:00-
- 3. 「生活環境放射線(国民線量の算定)第3版」 13:00 ~ 14:00
-その改訂のポイント-
講師 米原 英典 先生
公益財団法人 原子力安全研究協会 主任研究員
(休憩 15分)
- 4. 「放射線治療 最近の進歩と放射線管理」 14:15 ~ 15:15
講師 野寄 美和子 先生
獨協医科大学特任教授、
獨協医科大学埼玉医療センター 放射線治療センター長
(休憩 15分)
- 5. 特別講演
「福島原発事故から10年-復興がなぜ進まないか-」 15:30 ~ 16:30
講師 田中 俊一 先生
原子力規制委員会 初代委員長

(注)(公社)日本診療放射線技師会会員の方は「学術研修カウント」が付与されます。

(注)都合により講師、演題等に変更が生じる場合がありますので予めご了承願います。

令和3年度(秋期)「放射線安全管理研修会」受講申込要綱

テーマ「放射線安全管理と放射線安全文化の醸成をめざして」

放射線障害防止中央協議会(放中協)は、放射線安全管理に係る情報提供と放射線安全文化の醸成を目的に、放射線安全管理研修会を「会場集合型」及び「同時オンライン配信ZOOM(Webiner)」のハイブリッド形式で開催します。

開催日時 令和3年9月29日(水)開演10時00分～終演16時30分
東京会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館) 6階霧島(全館使用) -別図-
主催 放射線障害防止中央協議会 / 共催 (公財)原子力安全技術センター
協賛 (公社)日本アイソトープ協会、医療放射線防護連絡協議会、
(公社)日本診療放射線技師会、(一社)日本画像医療システム工業会

受講申込は下記URLからオンラインでお申込み下さい。

URL▶ <https://www.compass-tokyo.jp/houchukyo/index.html>

参加費 オンライン事前振込「イベントペイシステム採用」

- ❖「会場受講」 会員8,000円、非会員10,000円 (テキスト代含む)
- ❖「同時オンライン配信」 会員8,000円、非会員10,000円 (テキスト電子データ代含む)

(注) 会員資格とは、(公社)日本アイソトープ協会放射線安全取扱部会会員【個人】、医療放射線防護連絡協議会通信会員、(公社)日本診療放射線技師会、(一社)日本画像医療システム工業会の4団体の会員の方々です。該当する受講者は、団体名()及び会員番号()を必ず記入してお申し込みください。

(注) 日本診療放射線技師会(JART)会員の方で、「学術研修カウント」付与ご希望の方は会員番号()を記入してお申し込み下さい。

- ・応募人数(予定) 会場応募制限人数(80名)+同時オンライン配信(250名)
- ・キャンセルポリシー コロナ感染症に罹患または濃厚接触者は返金対応します。
- ・受講受付開始 令和3年7月16日より
- ・**受講申込締切日**
 - 会場受講 受講申込先着順80名になり次第締切ります。
 - 同時オンライン配信(令和3年9月22日)に締切ります。
- ・個人情報取扱い 個人情報は研修会開催関係以外には使用致しません。

お問合せ先

放射線障害防止中央協議会 受付業務委託提携先

株式会社コンパス 電話03-5840-6131・FAX03-5840-6130

E-mail houchukyo-support@compass-tokyo.jp

受講申込URL <https://www.compass-tokyo.jp/houchukyo/index.html>

研修会主催者

放射線障害防止中央協議会/(略称)放中協

放中協ホームページURL : <http://www.houchukyo.org/>

会場入館に際してのお願いとご注意！！

【コロナ感染症拡大防止の為に、会館及び主催者側からの重要なお願いです。】

次の方は入館をご遠慮いただく場合がありますので予めご了承ください。

- (1)平熱より高い発熱がある方(37度5分以上)
- (2)体調がすぐれない方(例:発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状)
- (3)同居家族や身近な知人に感染が疑われている人がいる方
- (4)入国制限・観察期間等がある海外から2週間以内に帰国された方または該当者と濃厚接触した方

◇会場入館に際しては、体温測定、マスク着用のご協力をお願い致します。

(別図) 会場:アルカディア市ヶ谷(私学会館) 6階霧島

住所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

電話03-3261-9921(代)・FAX03-3261-7760

【最寄り駅】

地下鉄 有楽町線・南北線(市ヶ谷駅)

(出口1又はA4)-出口から徒歩2分

地下鉄 新宿線(市ヶ谷駅)

(A1又はA4出口)-出口から徒歩2分

JR中央・総武線(各駅停車)

(市ヶ谷駅から徒歩2分-新宿方面前方乗車)



【昼食】

会場内での昼食(持込弁当等)は許可されておりませんのでご注意ください。

会場内レストランや会場周辺には、数多くの食堂があります。

◇ご質問について！

・研修会では、各講演後、約5分間の質疑時間を設けております。

また同時オンライン配信聴講者からの質問はチャット受付を予定しておりますが、研修会進行上の関係で、出来るだけ事前に受講申込時の(質問欄)に記載してください。

◇研修会終了後のアンケート提出にご協力ください。

本研修会は、第一線で活躍する様々な分野における専門家を講師に迎え、時宜を得た講演を受講することができる貴重な機会であり、放射性同位元素や放射線発生装置等取扱事業所の安全管理に携わる皆様並びに放射線にご関心をお持ちの皆様にとって非常に有益な情報を得ることのできる内容で企画しました。

・関係各位には、本研修会に奮ってご参加頂けますようご案内を申し上げます。